



※写真撮影用にマスクを外しています。

今号では、特別企画として、遠位型ミオパチー(※)を発症し、車椅子生活を送りながらも、同じような状況で苦しむ人のために、さまざまな活動を行う織田友理子さんと内藤市長の対談の様態をご紹介します。

(※)体幹から離れた部位から筋肉が萎縮していく難病。

**おだりこ 織田友理子さん**  
 一般社団法人WheelLog代表、NPO法人PADM(遠位型ミオパチー患者会)代表  
 .....  
 1980年生まれ。2002年、遠位型ミオパチーと診断。難病や希少疾病に関する新薬開発制度の問題に取り組み、患者数が少ない疾患でも治療薬が開発される仕組みをつくる。バリアフリー情報を共有できる地図アプリ「WheelLog」の開発を行う。

●市長 今日はよろしくお願ひします。  
 ●織田さん こちらこそお願ひします。

**逆境を乗り越えて**

●市長 織田さんは、ご自身も病気のにもかかわらず、どうしてこんなに行動力があるのですか。  
 ●織田さん 遠位型ミオパチー患者会の国への要望活動の際に、患者数が少ない団体は声を上げるのが本当に大変だと感じました。自分の生活や障害などでいっぱいいっぱいなのに、その上、国を動かすことをみんなができるわけではありません。できる人がやっぴいかなければいけないという使命感がすごくあります。  
 ●市長 使命感があっても、自分が動く、その一歩を踏み出すことはとても難しいと思います。

●織田さん 誰かのためになるのであれば頑張りたいという思いがすごくあって、生きている限り、やれることはやっぴいきたいと思います。  
 ●市長 今まで、断られたり、「そんなのできるわけない」といったいろんな言葉を返されたりといった経験がたくさんあると思うのですが。  
 ●織田さん そんな時は、やっぴい悔しくて泣きますよね。でもお医者さんに「あなたの後ろに何百人も患者がいると思いなさい」と言われたのです。だから、自分が諦めて良いのか、他の人たちがどう思うのか、同じような境遇の人たちがいるから負けるわけにはいかない、そう思考を転換するように意識しています。  
 いろいろな人の否定的な意見というのは、逆に自分にとっては、乗り越えるための力になる

ことがあると思うんですね。  
 ●市長 私もすごく口惜しいと思うこともあります、「ここでやめてしまったら、市民や次世代の子どもたちに嫌な思いをさせてしまうかもしれない」と奮起し、正しいと思う方向に進めていこうと努めています。

**みんなで作るバリアフリー**

●市長 織田さんたちが開発されたアプリ「WheelLog!」とは、どのようなものですか。  
 ●織田さん 車椅子で実際に走行したルートや利用したスポットなど、体験に基づいたバリアフリーの情報を共有できる地図アプリです。  
 ●市長 車椅子の人でも入れるお店やトイレなどの情報が分かるということですね。ベビーカーや子ども用車椅子を持ったお母さんたちも利用できますよね。  
 ●織田さん はい。また、全国でアプリを使った街歩きイベントなどを開催しています。みんなで情報を投稿し、地図を充実させることが、健常者と障害者の垣根をなくし、みんなでバリアフリーについて考えるきっかけになっているのではないかと考えています。そうした意味で私たちは、SDGs(持続可能な開発目標)の「住み続けられるまちづくりを」が本当に大切だなと感じています。

**心のバリアフリーを**

●市長 予算などの問題もあって、地方のまちはハードの部分で、公共交通機関や施設の整備といったものがなかなか追いついていない状況なのですが、そういった地方都市でも、バリアフリーを進めるためには、どうすればいいと思いますか。  
 ●織田さん 住民間の心のバリアフリーを推進していくことが大切だと思います。施設や設備の整備が難しくても、いくらでも心で、皆さんを迎えられたり、住む人たちが心地良くいられたりできると思います。  
 ●市長 そうですね。もっとWheelLogさんの

新年あけましておめでとうございます。  
 織田友理子さんとは親交があり、これまで障害当事者の視点からお気付きになられたバリアフリーの課題について、具体的な改善策のご提案をいただいております。織田さんは驚くほどの行動力を発揮しておられます。  
 私も子どもがおりますが、障害を持つ同級生がいて、他の同級生とともに分け隔てなく学校生活を送ることが自然に身に付いています。やはり小さい頃から誰もが「バリアフリーが当たり前の世の中」という意識を身に付けていくことが大事だと感じています。  
 ことは、いよいよ東京オリンピック・パ

ラリンピック競技大会が開催されます。私は、バリアフリーの取り組みは成熟国家の品格の現れだと思っており、パラリンピックレガシーとしての「真の共生社会の実現」に向けて、ハード・ソフト両面からのバリアフリー化に、より一層取り組み、日本が素晴らしい国と言っていただけるようにしていきたいと考えています。



国土交通大臣 赤羽 一嘉

活動が広がっていくことを期待しています。「WheelLog!」は、世界を変えていけると思います。  
 ●織田さん ありがとうございます。本当に関わっていただける人が優しくて、温かくて。皆さんからは「今までどうやって障害者に関わってほしいか分からなかったけど、自分が写真を撮って投稿するだけで役に立てるなら」「イベントに参加して車椅子の人たちの大変さが分かりました」などとおっしゃっていただいています。  
 みんなが障害者との関わり方についてもっと考えるきっかけになるような団体していきたいと思います。アプリでは情報を集めていますが、それだけではないと私は思っていて、活動を進める中で、みんなが優しくなって心が穏やかになり、人のことを考えられる心のバリアフリーを推進していけると考えています。徳島でもますます関わっていただけたら嬉しいです。  
 ●市長 そうですね。みんなが優しい気持ちになれば、よりいいまちになると思います。ぜひ、徳島市もそういうことを推進し、多様性を認め合う個性あふれるまちにしていきたいと思ひます。WheelLogさんの「街歩き」など、これか

らもイベントを開催されると思うので、市民の皆さんにも参加していただき、みんなが積極的にそういうアプリを普段使っているような、徳島市になればいいと思います。  
 ●織田さん そうですね。みんなが優しくなっていくツールとして活用していただけたら嬉しいです。  
 ●市長 ぜひ、これからもお願ひします。今日はありがとうございました。



◆対談動画は徳島市公式YouTubeで公開しています。



**民間企業との包括連携協定を推進しています**

◆包括連携協定とは  
 民間企業と自治体が、それぞれの資源を生かしながら協働して、地域の活性化や市民サービスの向上に取り組むもので、さまざまな分野で包括的に、連携・協働を推進することを双方が確認するものです。徳島市は現在12の企業との間で包括連携協定を締結しています。  
 ◆取り組みの紹介  
 連携・協働の取り組みの一部を紹介します。  
 ■徳島市民病院でのカー・シェアサービス【トヨタカローラ徳島株式会社】  
 徳島市民病院内に、「カー・シェア」ステーションを設置しています。(利用には、料金がかかるほか、スマートフォンから専用アプリに登録する必要があります)  
 ■移動図書館「いずみ号」の巡回【株式会社セブン・イレブン・ジャパン】  
 はこらいふ図書館の移動図書館「いずみ

号」が、セブン・イレブン徳島国府バイパス店を月に1回程度、巡回します。巡回日には、予約した本を受け取ることができまひす。  
 ■緊急対応業務用としてスマートフォンおよび携帯電話を貸与【KDDI株式会社】  
 令和2年4月、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校休校中の連絡用として、臨時的にスマートフォンおよび携帯電話の無償貸与を受けました。  
 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆  
 このほか、地域見守り活動、防災対策や市政情報の発信などさまざまな分野で連携・協働を推進しています。  
 詳しくは、市ホームページをご覧ください。  
 【問い合わせ先】企画政策課(☎621-5085 ☎624-0164)



**会計年度任用職員を募集**

4月1日～令和4年3月31日まで勤務する会計年度任用職員を募集します。  
 ◆保育所等調理員(週38時間45分勤務)  
 【給与】本市での経験年数に応じ月額14万8,114円～16万8,199円  
 【申し込み期限】1月26日(火)(消印有効)  
 【選考試験】1月31日(日)に市役所で面接  
 【問い合わせ先】子ども施設課(☎621-5195 ☎621-5036)  
 ◆女性センター相談員(週29時間勤務)  
 【給与】資格および本市での経験年数に応じ月額11万2,619円～  
 【申し込み期限】2月8日(月)(必着)  
 【選考試験】2月13日(出)にアミコビルで面接  
 【問い合わせ先】女性センター(☎624-2611 ☎624-2612)  
 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆  
 各種手当(通勤、期末など)あり。詳しくは市ホームページをご覧ください。



**ピックアップ**

**考古資料館**  
 ◆令和2年度特別企画展「音の考古学—SOUND OF ARCHAEOLOGY—」.....  
 銅鐸をはじめとする音を鳴らすことができる考古資料を紹介しまひす。  
 【会期】1月19日(火)～3月21日(日)  
 ◆とくしま好古楽倶楽部「火おこしをしてみよう」.....  
 古代のさまざまな火おこしの方法に挑戦します。  
 【とき】2月14日(日)13:00～16:00  
 【対象】小学生以上(小学生は保護者同伴) 【費用】無料  
 【定員】20名(先着)  
 【申し込み方法】電話または直接、考古資料館へ  
 ◆遺跡と遺物に学ぶ考古学講座「矢野遺跡」.....  
 矢野遺跡を歩いて見学し、その後、考古資料館展示室にて出土品を見ながら解説を行います。  
 【とき】2月20日(出)14:00～  
 【対象】小学生以上(小学生は保護者同伴) 【費用】無料  
 【定員】20名(先着)  
 【申し込み方法】電話または直接、考古資料館へ  
 【準備物】歩きやすい靴、動きやすい服装

◆ ◆ ◆ ◆ ◆  
 【開館時間】9:30～17:00(入館は16:30まで)  
 【休館日】毎週月曜日と2月12日(金)・23日(祝)・24日(水)・25日(木)  
 詳しくは、お問い合わせください。  
 【問い合わせ先】考古資料館(☎637-2526 ☎642-6916)  
**徳島城博物館**  
 ◆新成人記念射会&射初め(中学・高校生の部).....  
 【とき】2月7日(日)13:00～※雨天の場合2月11日(祝)に順延。  
 【対象】▶新成人=2月時点で20歳、または本年中に20歳を迎える徳島県内在住の新成人で、弓道経験者または日弓連有段者▶中学・高校生の部=弓道経験1年以上  
 【定員】各10名(先着)  
 【申し込み方法】1月24日(日)までに、郵送またはファックスで「『新成人記念射会』または『射初め(中学・高校生の部)』参加希望」と明記し、住所・名前・生年月日・電話番号・取得段位または経験年数を書いて、同館へ  
 【問い合わせ先】徳島城博物館(〒770-0851 徳島町城内1-8 ☎656-2525 ☎656-2466)

